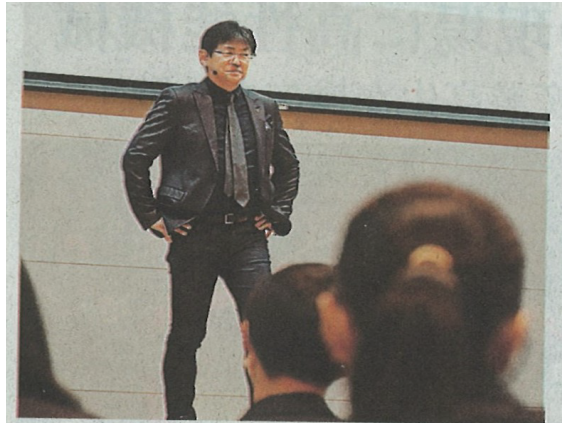




1年次 アカデミック3days サイエンスセミナー サイエンスナビゲーター 桜井進先生(山形県出身)講演会



身近な数学 面白い

鶴岡中央高 桜井さん(東根出身)が講演

東根市出身でサイエンスナビゲーターの桜井進さん(53)は東京都を講師に迎えた「数学と言葉」をテーマに講演した桜井進さん
鶴岡市・鶴岡中央高

えたサイエンスセミナーが17日、鶴岡市の鶴岡中央高(兼子由香校長)で開かれた。「数学と言葉」をテーマに、生徒たちは生活の中で使われる身近な数学について学んだ。

桜井さんはテレビ出演や全国各地での講演を通じて、数学の歴史や学ぶ楽しさを伝えている。本紙教育面では2009年6〜12月に連載「算数のこころ」を担当した。

桜井さんは「数」と「数字」の違いについて「数は目に見えない存在で、数字は目に見えるように表したものだ」と説明。数学の命題で用いる「かつ」「または」についても、会話で使う場合との意味のずれを例示し、生徒の関心を誘った。年齢を重ねるごとに一年

が短く感じるようになることについては、「ジャンネの法則」を紹介。記憶が残る4歳から100歳までを人生として計算すると、人生の折り返しは20歳となることを表す法則で、数学を使うと人生の中間点も分かる」と楽しみ方を伝えた。

1年生234人を対象に、同校が初めて企画した「アカデミック3デイズ」の一環。佐藤漢太郎さん(16)は「身近に数学があふれていることを知って興味が出た」と話していた。(根本光輝)